

新登場

水稻育苗箱専用 殺虫殺菌剤

ハコガード[®] 粒剤

4つの
有効成分

チアジニル

ピラキサルト[™]

チフルザミド

リナキシピル[™]

ワイドな病害虫から
育苗箱をガード!!

新規有効成分
ピラキサルト[™]が
抵抗性ウンカ
からガード!

高密度播種
対応

ウンカ類
(トビイロウンカ)

ツマグロヨコバイ

コブノメイガ

紋枯病

イネミズゾウムシ

いもち病

イネドロオウムシ

白葉枯病

イネツトムシ



WCS用稲
にも使えます※

※「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に記載



NICHINO

日本農薬株式会社

水稻育苗箱専用 殺虫殺菌剤

ハコガード® 粒剤

ハコガード®は日本農薬(株)の登録商標
RYNAXYPYR®FMCコーポレーションまたはその米国
およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標
Pyrexalt®activeはコルテバ・アグリサイエンスならびに
その関連会社の登録商標

有効成分 クロラントリプロール…0.75% 殺虫剤分類 28
トリフルメゾピリム…0.75% 殺虫剤分類 4E
チアジニル…6.0% 殺菌剤分類 P3
チフルザミド…3.0% 殺菌剤分類 7
安全 性 普通物(毒劇物に該当しないものを指すいう通称)

特 長

育苗箱処理でいもち病、紋枯病、白葉枯病、もみ枯細菌病、内穎褐変病および、水稻主要害虫(ウンカ類、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、コブノメイガなど)を同時防除できます。

チアジニル

いもち病、細菌病

稲の病害防御機能を増強し、安定した効果を発揮

チフルザミド

紋枯病

紋枯病の菌核発芽、進展、形成を阻害し、高い効果と優れた効果持続性を発揮

クロラントリプロール (リナキシピル™)

チョウ目害虫、初期害虫など

チョウ目害虫に優れた効果持続性を発揮、幅広い初期害虫にも有効

トリフルメゾピリム (ピラキサルド™)

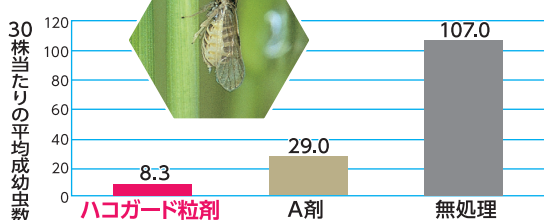
ウンカ類

トビウロウンカ等のウンカ類に極めて高い効果、既存剤抵抗性ウンカ類にも有効



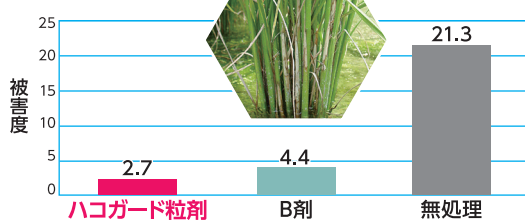
試験成績

ウンカ類 (トビウロウンカ)



日本農薬(株)総合研究所/熊本(2014年)
品種:ヒノヒカリ 移植:6/27 処理:6/27(移植当日)
調査:9/16(移植81日後) 発生状況:少発生

紋枯病



日本農薬(株)総合研究所/大阪(2015年)
品種:ヒノヒカリ 移植:5/29 処理:5/29(移植当日)
調査:9/18(移植112日後) 発生状況:中発生

適用病害虫および使用方法

〈2022年1月現在の登録内容〉

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントリプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数	チフルザミドを含む農薬の総使用回数
稲(育苗箱)	いもち病、紋枯病、白葉枯病、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ、フタオビコヤガ	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約50l)1箱当り50~100g)	緑化期 ~ 移植当日	1回	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する	1回	1回	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
		育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約50l)1箱当り50g							
	内穎褐変病	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約50l)1箱当り50~100g)	移植3日前 ~ 移植当日						
稲	ウンカ類、コブノメイガ	1kg/10a	移植時		側条施用			3回以内 (直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	3回以内 (直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)

注意事項

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植してください。
- イネ葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 軟弱徒長苗、ムレ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約50l)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、代かきは丁寧に行い、移植後に田面が露出しないよう注意してください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。また、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

レイミーの農業チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



NICHINO
日本農薬株式会社

東京都中央区
京橋1丁目
19番8号

TEL:0570-09-1177 URL:https://www.nichino.co.jp/

2023年6月作成版(SPA)FL12306S